

# 一族のしきり



- 一. 結婚し自らの家系の子を成した女は  
次は、一族の繁栄のために子を成さねばならない
- 二. 月のうち三夜を、孕む準備の日とする
- 三. 相手は、長が用意し、女に拒否権はない。
- 四. 受精小屋の事は、決して外に口外してはならない……





やった

ワイ

じゃあ、  
ワシは仕事に  
もどります

ご、ごめんなさいね。  
こんな格好で  
急だったから……

「お勤め」の相手は  
ヒナタおばさんだ

ええ!

お願い  
します



は、はい

頑張っ  
たり  
やり  
遂  
げ  
る  
ぞ!

さあ  
中  
に  
入  
っ  
て



暑  
か  
っ  
た  
で  
し  
よ  
う  
?

ヒ  
ナ  
タ  
お  
ば  
さ  
ん  
と  
出  
来  
る  
な  
ん  
て……



僕  
の  
初  
め  
で  
の  
お  
勤  
め

キラ



効いてきたわ  
ハア  
モニ  
モニ

次は…  
トロリ

あっ  
ハッ  
ハッ

ガバッ

ゴキョ  
ゴキョ  
ゴキョ

こっちにも  
たっぷり  
塗らないと…

丸見えだ

全部

いつも清楚な  
ヒナタお婆さんが  
あんな下品な  
ポーズをするなんて

ドキ  
ドキ  
すごい

指が  
止まらない♡

ああん♡  
我慢できなくなってきた!

ハア  
ハア  
ハア  
ハア





すず

ヒナタおばさん  
もう  
我慢できません！

すずすず

すずすず

すずすず

すずすず

すずすず

臭いっ

あっ

あっ



!!

ちよっと  
待って



じゃ、じゃあ  
行きます！

憧れだった  
ヒナタ  
おばさんの中に  
僕のモノを  
入れれるなんて！

ドキ  
ドキ

ドキ  
ドキ



ここでは  
好きなだけ  
して良いのよ♡

「しきたり」  
なんだから

この子  
もう「オス」に  
なってる♡

ハッ  
ハッ



この  
大きさじゃ

僕じゃお勤め  
できない...

奥に子種を  
植え付け  
られないわ

そ、  
そんな...



やっぱり  
ダメね

え？

グイ  
グイ



男の陰茎に使えば  
いつも以上に  
大きく太く勃起させて  
何度でも射精できる  
ようになるの

あっ

秘薬「ガマの油」は  
女の陰茎に使えば  
女を発情させ  
排卵させる…

心配しないで

うふ♡



ヒ

ヒナタ  
おばさん!?



パク

え!?



レロ  
レロ

私が  
塗り込んで  
上げる



あっ!

ああ!

おちんちん  
き、汚いよ!

ぶぶっ!  
気にしないで!  
もっと感じて  
大きくしなさい!

んっ

んっ

んっ

んっ



日向一族の血系限界である  
「白眼」を持つ子を成すため  
「受精の儀」を  
執り行わせていただきます。

そして、儀式後は、  
「ツガイ」としてこの屋敷で  
昼夜を問わず、私と  
子作りをしていただきます。



まず  
受精の儀式を  
行いましょう

今、私の体は  
チャクラの印で  
避妊状態になってるの

避妊

この印を、受精の儀式で  
書き換えれば、妊娠可能  
な体になるわ…

スレル

避妊

印の書き換え  
方法は

!?

絶頂状態の  
子宮に直接  
対象の精子を  
取り込む事よ

避妊

儀式が終わったら  
3日間  
私はあなたの  
ツガイとなります

さあ…来て

わ、わあ……

こ、ここに  
僕のを  
入れるんですね

そう  
おまんこに  
おちんちんを  
入れるのよ

初めて……  
なのね？

息子と  
同い年のから5000

その下の穴に  
押し込むのよ

久しぶりの筆おろしだわ……

あれ？

はい

グッ





ヒナタ  
おばさん？

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ギョ

ギョ

ギョ

ギョ

ギョ

遠慮しないで

わ、わかりました

一番「奥」を  
犯して！

ギョ

ギョ



アッ

アッ



ここですか？

アッ

アッ

アッ

アッ



そこに  
子種を  
種付けしてえ!

僕もう!

ズ  
ム

でちやうとう!

ズ  
ボ

ズ  
ム

ヒナタ  
おばさん!

避妊



これで  
受精の儀式は  
完了ね

グ  
グ



ズ  
ル

お腹を見て

避妊

ハニアア...

印が書き換わって

妊娠

妊娠可能状態になったわ

これで受精の儀は完了  
子作りが出来るようになったわ

妊娠

こ、子作り

ピナタさんと

まだやれます

僕の子供...

ぼ、僕

ハア

ハア

ハア